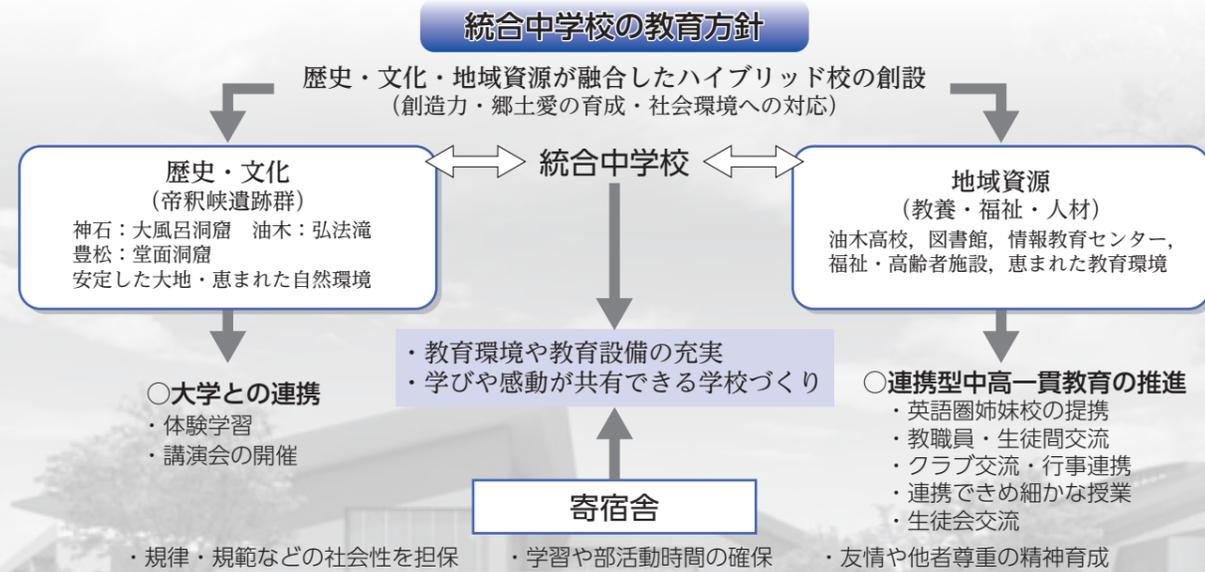


統合中学校の教育方針が示される

新しい中学校の教育方針が11月の保護者説明会で示されました。本町の教育理念を「未来を拓く人と文化の創造」として掲げ、教育課題を「創造力と郷土愛の育成、社会の変化に柔軟に対応できる力を持てる子どもの育成」としています。

統合する3地域には帝釈峡遺跡群に属する「神石の大風呂洞窟」「油木の弘法滝」「豊松の堂面洞窟」などがあり、旧石器時代から安定した大地、恵まれた自然環境の中で文化が築かれてきました。また、図書館や福祉施設、油木高校も隣接し恵まれた教育環境にあります。発掘調査を行っている広島大学との連携や油木高校との連携型一貫教育の推進、新しい近代的な学習環境の中でこれらが融合し、学びや感動が共有できるハイブリッドな学校を目指しています。



統合中学校の地域・保護者説明会を開催

11月5日～8日で、神石、豊松、油木地区で説明会を実施しました。3地区の説明会で100名あまりの保護者や地域住民の参加があり、現在の進捗状況や統合中学校開校に対して、意見や要望が多数ありました。この要望や意見交換の内容を検討しながら、統合中学校の開校準備を進めていくことになりました。

町立病院からのお知らせ

「私の医療に対する希望」～終末期になったとき～ 町立病院健康学習会「まめくらぶ」

回復の見込みのない病状になった時、延命治療や人工栄養などの医療を選択できるなかで、納得のいく死を迎えるために、自分の人生の最終章に向き合うことはとても勇気が必要です。



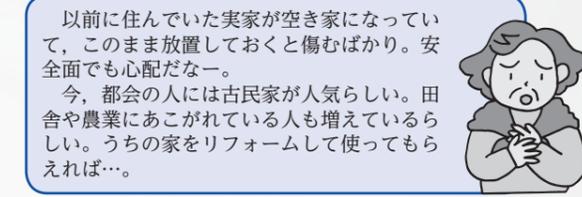
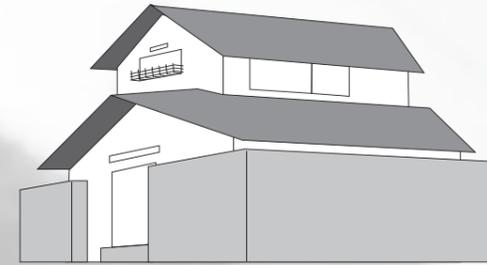
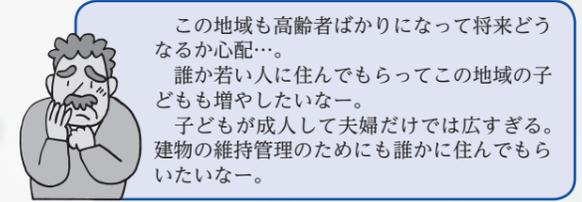
11月28日の「まめくらぶ」では、終末期になったとき、自分が「どんな医療を受けたいか」について、4つのグループに分かれ医師や看護師と一緒に考えました。

自分は延命治療を行わない自然な死を望むという決意がある方が多い反面、家族が同じ状態になった場合の選択は悩み、その選択に後悔することもあるという意見もありました。

残された家族が悩まないように自分の医療に対する希望を考え、伝え、自分らしい死を迎える準備をしておくことが大切だと確認しました。

町立病院では「私の医療に対する希望（終末期になったとき）」について書面にてカルテに残しておくことができますので、ご希望の方はお申し出ください。

空き家を探しています。



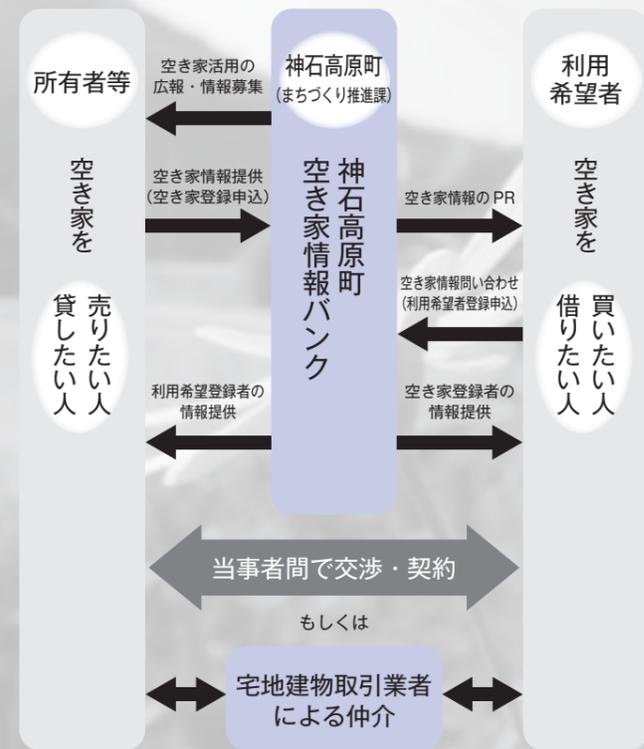
●空き家情報バンクに登録しませんか。

交流や定住の促進が話題になる中、神石高原町では「空き家情報バンク制度」により、売りたい・貸したい人の空き家・空き地の情報収集と、神石高原町へ住みたい・家を借りたい人への情報提供を行っています。

空き家・空き地を売ったり、貸したりしたい方は、町の「空き家情報バンク」へ登録してみませんか。登録されるとホームページなどで利用希望者に情報を提供していきます。

手続きも簡単ですので、お気軽に登録してください。空き家を有効活用することで、定住促進や地域の活性化につなげたいと考えています。ぜひご相談ください。

(注)・ここでの「空き家」とは、個人が居住を目的として建築（購入）し、現に居住していない住宅・居宅・建物およびその敷地のことをいいます。(賃貸などを目的として建てた物件は対象外となります)
・町では、空き家所有者と空き家利用者とのマッチングまでを行い、空き家に関する賃貸借などの交渉・契約については、直接これに関与しません。



●こんな方が空き家情報を待っています。

- 子どもをのびのび育てられる自然環境豊かな町に移住したい。
- 家庭菜園を作ったり、農的な暮らしを実現したい。いずれは農業がしたい。
- 古民家に住んで、こだわりのある暮らしがしたい。
- 神石高原町で起業し、地域の活性化に役立ちたい。等等。



●お問い合わせ先 まちづくり推進課 ☎89-3332 FAX85-3394
e-mail jk-suisin@town.jinsekikogen.hiroshima.jp
定住情報Webサイト <http://www.jinsekigun.jp/p/town/teijyu/>